



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月5日
東

上場会社名 株式会社エムケイシステム 上場取引所
 コード番号 3910 URL <https://www.mks.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 登
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理統括 (氏名) 竹本 清志 TEL 06-7222-3394
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	679	33.4	△71	—	△71	—	△74	—
2024年3月期第1四半期	509	△18.5	△167	—	△165	—	△412	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △75百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △413百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△13.77	—
2024年3月期第1四半期	△76.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,323	718	30.6
2024年3月期	2,558	816	31.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 711百万円 2024年3月期 807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,240	22.7	107	—	109	—	73	—	13.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	5,428,000株	2024年3月期	5,428,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	506株	2024年3月期	506株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	5,427,494株	2024年3月期1Q	5,427,494株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は持ち直しに足踏みがみられるものの、雇用・所得環境は改善に向かっており、インバウンド需要の拡大などを背景に、内需を中心に緩やかに景気回復に向かっていきます。しかしながら、グローバルな地政学リスクや欧米における高い金利水準の継続に伴う影響など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、円安の進行による経済への影響や物価上昇への懸念など、先行きが不透明な状況が続いています。

国内の情報サービス業界及び当社グループの関連する人事労務領域においては、生成AI技術の活用やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進による業務効率化、コスト競争力の強化、売上拡大など、企業のIT投資需要に持ち直しの動きがみられるものの、個人消費の低迷や海外景気の不透明さなどによる国内景気の下振れリスクもあり、今後のIT投資動向への影響が懸念されます。

このような状況の中、当社グループは、前期に発生したランサムウェアによる不正アクセス事案への対応を進める一方、主力製品である社労夢（Shalom）シリーズの新製品である社労夢FOREVERの一部プランをリリースし、顧客の業務効率化並びに付加価値創造を支援し、顧客満足度をより一層高めるべく努めてまいりました。しかしながら、前期に構築したクラウドサービスの運用コストが、システム開発の遅れや円安の進行に伴い増加しており、引き続き新製品開発の取り組みや原価低減への対応に注力していく必要があります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は売上高679,301千円（前年同四半期比33.4%増）、売上総利益284,175千円（前年同四半期比148.0%増）、営業損失71,832千円（前年同四半期は167,499千円の営業損失）、経常損失71,433千円（前年同四半期は165,593千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失74,721千円（前年同四半期は412,564千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。また、当社グループが重要な経営指標と考える自己資本利益率（ROE）は、連結ベースで $\Delta 9.8\%$ （前年同四半期は $\Delta 31.9\%$ ）、当社単体では $\Delta 3.9\%$ （前年同四半期は $\Delta 25.9\%$ ）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

（社労夢事業）

社労夢事業は、社会保険労務士事務所、労働保険事務組合及び一般法人における、社会保険、労働保険、給与計算等の手続きをサポートする業務支援ソフトウェアを提供しております。主力製品である社労夢（Shalom）シリーズをはじめ、マイナンバー管理システムの「マイナボックス」、WEB年末調整システム「eNEN」などのクラウドサービスで主に構成されます。

働き方改革やテレワーク推進のための業務効率化の必要性を背景に、主要顧客である社会保険労務士市場のみでなく、一般法人市場においてもシステム導入意欲が高まっている一方で、競合による新規参入が散見され、価格面も含め競争の激化が予想されます。

社労夢事業では、新製品である社労夢FOREVERの一部プランをリリースしたことなどにより、前年同四半期に比べて増収となったものの、クラウドサービスの運用コストや顧客サポート費用の増加に伴い、営業損失を計上することとなりました。

売上高の内訳としましては、クラウドサービス売上高が561,630千円（前年同四半期比55.3%増）となり、その内、ストック収益であるASPサービス売上高が551,714千円（前年同四半期比58.9%増）、システム構築サービス売上高が9,916千円（前年同四半期比31.3%減）となりました。システム商品販売売上高は18,049千円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

以上の結果、社労夢事業の売上高は581,619千円（前年同四半期比50.3%増）となり、売上総利益は261,850千円（前年同四半期比193.0%増）、営業損失は39,891千円（前年同四半期は144,972千円の営業損失）となりました。当社グループで重要な経営指標としている売上高に対する営業利益の比率は $\Delta 6.9\%$ （前年同四半期は $\Delta 37.5\%$ ）となりました。

(CuBe事業)

CuBe事業では、大手企業の人事総務部門向けに業務プロセスの効率化を目的として個社毎にカスタマイズしたフロントシステムの受託開発と、大手企業向け受託開発を通じて蓄積したノウハウを活かし、中小企業での利便性を実現したクラウドサービス「GooooN」の提供を行っております。

フロントシステムの受託開発においては、顧客となる大企業や自治体などからの新たな開発案件の受注が順調に積み上がりましたが、売上高への寄与は第2四半期以降から本格化する見込みとなります。クラウドサービス「GooooN」においては、機能強化及び販売ルートの開拓に努めました。

以上の結果、CuBe事業の売上高は100,246千円（前年同四半期比19.9%減）、売上総利益は22,571千円（前年同四半期比11.7%減）、営業損失は35,067千円（前年同四半期は27,739千円の営業損失）となりました。なお、CuBe事業の営業損失については、のれん償却額9,705千円を反映しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ236,581千円減少し、1,200,525千円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少155,064千円、売掛金の減少112,332千円によるものであります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,193千円増加し、1,123,146千円となりました。主な要因は、ソフトウェア仮勘定の増加67,363千円、ソフトウェアの減少51,959千円、のれんの減少9,705千円、繰延税金資産の減少3,424千円によるものであります。

以上の結果、総資産の残高は前連結会計年度末に比べ234,388千円減少し、2,323,672千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ63,172千円減少し、946,997千円となりました。主な要因は、賞与引当金の減少28,287千円、買掛金の減少25,615千円、未払金の減少23,145千円によるものであります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ74,049千円減少し、657,697千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少76,107千円によるものであります。

以上の結果、負債の残高は前連結会計年度末に比べ137,222千円減少し、1,604,694千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における株主資本は、前連結会計年度末に比べ96,431千円減少し、711,275千円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少96,431千円によるものであります。

以上の結果、純資産の残高は前連結会計年度末に比べ97,165千円減少し、718,977千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月7日に公表した「2024年3月期決算短信[日本基準](連結)」に記載しております連結業績予想から変更はありません。

今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	711,780	556,715
売掛金	564,670	452,338
商品	7,912	8,691
仕掛品	91,442	143,961
貯蔵品	430	419
前払費用	39,879	31,593
その他	20,991	6,805
流動資産合計	1,437,107	1,200,525
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	101,089	103,308
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	25,678	23,435
有形固定資産合計	126,767	126,744
無形固定資産		
ソフトウェア	485,536	433,577
ソフトウェア仮勘定	244,876	312,239
商標権	625	567
電話加入権	1,218	1,218
のれん	97,056	87,350
無形固定資産合計	829,312	834,953
投資その他の資産		
出資金	60	60
差入保証金	157,246	157,246
繰延税金資産	6,390	2,965
その他	1,176	1,176
投資その他の資産合計	164,872	161,448
固定資産合計	1,120,953	1,123,146
資産合計	2,558,060	2,323,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,683	37,068
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	304,428	304,428
未払金	125,355	102,210
未払費用	24,855	23,806
未払法人税等	16,151	2,758
未払消費税等	14,142	15,367
前受金	88,133	97,124
賞与引当金	63,169	34,881
その他	11,251	29,352
流動負債合計	1,010,170	946,997
固定負債		
長期借入金	722,059	645,952
退職給付に係る負債	9,688	11,745
固定負債合計	731,747	657,697
負債合計	1,741,917	1,604,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	219,110	219,110
資本剰余金	202,122	202,122
利益剰余金	386,973	290,541
自己株式	△499	△499
株主資本合計	807,706	711,275
非支配株主持分	8,436	7,702
純資産合計	816,143	718,977
負債純資産合計	2,558,060	2,323,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	509,123	679,301
売上原価	394,531	395,125
売上総利益	114,592	284,175
販売費及び一般管理費	282,091	356,008
営業損失(△)	△167,499	△71,832
営業外収益		
受取配当金	1	1
受取手数料	—	1,995
受取賃貸料	10,249	10,023
業務受託料	1,500	900
その他	8	99
営業外収益合計	11,758	13,018
営業外費用		
支払利息	644	2,209
賃貸収入原価	9,209	9,060
その他	—	1,350
営業外費用合計	9,853	12,619
経常損失(△)	△165,593	△71,433
特別損失		
固定資産除却損	125,934	—
システム障害対応費用	103,780	—
特別損失合計	229,715	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△395,308	△71,433
法人税、住民税及び事業税	597	597
法人税等調整額	17,178	3,424
法人税等合計	17,775	4,021
四半期純損失(△)	△413,083	△75,455
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△519	△733
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△412,564	△74,721

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△413,083	△75,455
四半期包括利益	△413,083	△75,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△412,564	△74,721
非支配株主に係る四半期包括利益	△519	△733

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	386,386	122,737	509,123	—	509,123
セグメント間の内部売上高又は 振替高	690	2,460	3,150	△3,150	—
計	387,076	125,197	512,273	△3,150	509,123
セグメント損失(△)	△144,972	△27,739	△172,712	5,213	△167,499

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	社労夢事業	CuBe事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	581,490	97,810	679,301	—	679,301
セグメント間の内部売上高又は 振替高	129	2,436	2,565	△2,565	—
計	581,619	100,246	681,866	△2,565	679,301
セグメント損失(△)	△39,891	△35,067	△74,959	3,126	△71,832

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	94,589千円	87,923千円
のれんの償却額	9,715千円	9,705千円